

第10回日韓消防行政セミナーの開催

国民保護・防災部参事官付

1. はじめに

平成25年1月16日、17日の両日、韓国消防防災庁の主催による「第10回日韓消防行政セミナー」が韓国済州島で開催されました。

この日韓消防行政セミナーは、日韓両国の消防職員間の定期的な交流・協力の機会として、日本側の提案により平成14年から毎年日韓交互に開催しているものです。

今回のセミナーには、消防庁の大庭誠司消防庁国民保護・防災部長をはじめとする4名に加えて、韓国側からの要請により、石巻地区広域行政事務組合消防本部の星幸三郎消防長にも特別にご参加頂きました。

本セミナーでは、これまで我が国の全国瞬時警報システム（Jアラート）や緊急消防援助隊、韓国での大邱地下鉄火災や低燃焼性たばこなどの幅広い分野での情報交換を行ってきました。

今回のセミナーの概要は以下のとおりです。

2. セミナーの概要

大庭誠司国民保護・防災部長と李起桓^{りきふあん}韓国消防防災庁長の挨拶に続いて、日韓双方からそれぞれ3件の発表が行われ、活発な質疑応答が行われました。

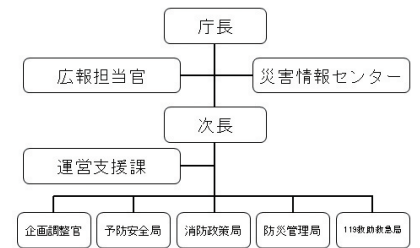
このうち星幸三郎消防長が震災時の活動状況とその教訓について自らの体験を交えつつ行った発表では、韓国側参加者が非常に熱心に聞き入っている様子が印象的でした。

また、韓国側の発表では、韓国におけるIT技術を駆使した災害情報伝達システムやSNSを活用した119通報などが参考となりました。

このような事例発表に加えて、今後の日韓間の更なる協力のあり方についての意見交換が行われ、韓国側から日韓合同救助訓練の提案がありましたが、議論の結果、まずはそれぞれが実施する訓練の視察などを通じて引き続き検討していくこととなりました。

3. おわりに

最後に、次回のセミナーを今年の秋を目途に我が国で開催することを確認し、閉会しました。



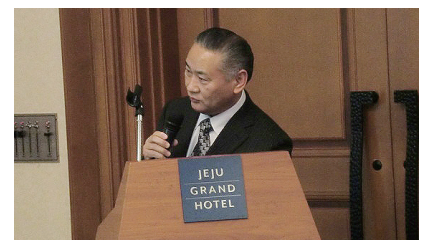
韓国消防防災庁の組織図



セミナー参加者



大庭国民保護・防災部長と李消防防災庁長



星幸三郎石巻地区広域行政事務組合消防長の発表



活発な意見交換の様子

発表テーマ

【日本側】

- 東日本大震災における消防の対応
- 災害時における住民への情報伝達
- 大規模災害時の惨事ストレス対策

【韓国側】

- 災害時における国民への情報伝達手段
- 韓国の119救急サービス
- 韓国における近年災害発生状況及び問題点とその改善方策

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部参事官付 岡野屋 TEL: 03-5253-7507